

## 生分解性バイオポリエステル樹脂を新規開発

～高いバイオマス度、柔軟性、高い裂け強度、優れた加工性を実現～

三菱ケミカルグループ※1（以下「当社グループ」）は、高いバイオマス度と柔軟性などの特長を持つ新たな生分解性バイオポリエステル樹脂を開発したことをお知らせします。

このたび開発した SA916N および SA916F は、自然界の微生物によって分解される生分解性樹脂であり、当社グループ独自の材料設計技術と製造技術により、60%以上の高いバイオマス度、柔軟性、高い裂け強度、優れた加工性を実現しました。食品包装やレジ袋、農業用マルチフィルムなどのさまざまな用途に用いることが可能です。

当社グループは、革新的なソリューションを提供するスペシャリティマテリアルグループとして、さらなる技術開発を進め、高付加価値な製品を提供するとともにサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

### 1. 開発品の特長（次ページで崩壊性試験や物性について紹介しています）

当社グループ独自の材料設計技術でバイオマス由来のモノマーを組み合わせることで下記の特長を有しています。

- ・ 生分解性
- ・ バイオマス度 60%以上
- ・ 柔軟性
- ・ 高い引裂強度
- ・ 優れた加工性
- ・ 透明性
- ・ 高い衝撃強度
- ・ ゲルが少ない
- ・ 当社 BioPBS™含む他の生分解性樹脂との相容性

### 2. 想定分野と今後の展開

食品包装やレジ袋、農業用マルチフィルムなどの用途で、日本、欧州は2024年1月から、続いてアメリカでもサンプルワークを開始し、技術開発を進めます。



（イメージ図）

※1 三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社の総称です。

以上

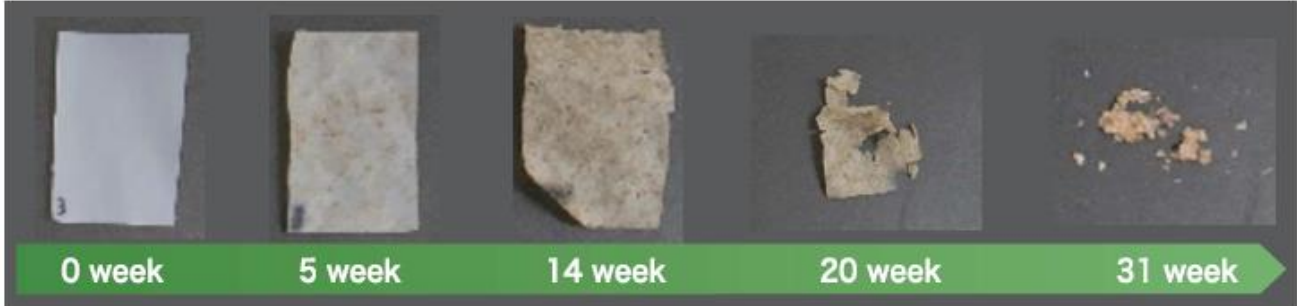
お問合せ先  
三菱ケミカルグループ株式会社  
コーポレートコミュニケーション本部  
メディアリレーション部 TEL : 03-6748-7140

■崩壊性試験

試験方法：コンポストを用いる崩壊性試験を社内で実施

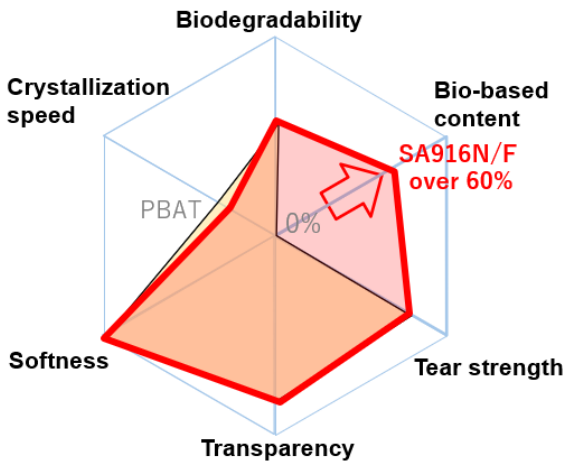
条件：グレード「SA916N」厚さ 50 μmのフィルムを 60°Cのコンポストと土壌に設置

結果：31週でほとんどが分解されたことを確認



■物性

プレスシート物性



測定項目	測定方法* (参考)	単位	SA916 N/F**
MFR@190 °C , 21.2 N	ISO1133	g/10 min	3.5-4.0
厚み	-	μm	99
ヤング率	ISO 527-3	MPa	68
降伏応力	ISO 527-3	MPa	6
引張強度	ISO 527-3	MPa	36
引張破断伸び	ISO 527-3	%	800
エルメントルフ 引き裂き強度	ISO 6383-2	N/mm	100

\*表中の測定方法を参考に実施

\*\*記載の数値は、当社グループにおける代表的な測定値であり保証値ではありません。